

第651回

九州朝日放送番組審議会議事録

—— 2023年3月度 ——

◇ 開催日

2023年3月13日(月)

◇ 議題

<テレビ番組>

「羽鳥×指原 ご当地！推しメシツアー

それ東京でも食べられますけど！」

(テレビ朝日系列 24局ネット)

放送日時：2月19日(日)午後1時55分

◇ その他

九州朝日放送株式会社

第651回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2023年3月13日(月)午後3時55分～4時45分

2. 開催場所 九州朝日放送 本社7階A会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 8名

委員長	石橋和幸
副委員長	石井靖子
委員	中山裕二
委員	藤村まこと
委員	丸石伸一
委員	田川真司
委員	上野恵梨奈
委員	山根久資

欠席委員数 0名

放送事業者側出席者名

代表取締役社長	和氣靖
執行役員 総合編成局長	木附ゆかり
執行役員 報道情報局長	柴田高宏
総合編成部 番組戦略部 番組プロデューサー	下妻宏平
ケイ・ビー・シー映像 番組プロデューサー	坪内大輔
番組審議会事務局長兼視聴者・広報室長	園田哲也
番組審議会事務局 (視聴者・広報室)	松永俊郎

4. 議題

- (1) テレビ番組「羽鳥×指原 ご当地！推しメシツアー

それ東京でも食べられますけど！」(テレビ朝日系列 24 局ネット)

放送日時：2月19日(日)午後1時55分

- (2) 3月・4月 ラジオ・テレビ番組編成状況の報告
(3) 2月 視聴者・聴取者応答状況の報告
(4) その他

5. 議事の概要

委員の意見(概要)

委員からは、

- 単なるご当地のグルメ番組に終わらず、登場するゲストのエピソードや紹介されたお店のエピソードなど、郷土愛や感動秘話も盛り込むことにより、長時間の番組だが退屈せずに堪能することができた。視聴者の興味を惹く内容だった。
- 前作と同様に MC の羽鳥慎一さんと指原莉乃さんのトークが軽快で、番組を盛り上げるためのコメント力に感心した。羽鳥さんの的確な食リポもお見事だった。
- 前作では KBC 宮本啓丞アナウンサーの立ち位置がはっきりしていなかったが、本作は一緒にテーブルにつきスムーズにトークに参加するなど違和感なく見ることができた。
- 「久留米うどん」と「久留米荘」のビデオレターのやり取りは新鮮味があり感動した。
- スウェーデン出身の LiLiCo さんのエピソードは番組の厚みを増した。現地の映像やご友人の出演により心温まる内容になっていた。また、アフターコロナで訪日客が戻り、日本からの渡航者も増す「タイミング」という意味でも良かった。
- 「地元局の放送局員が選んだご当地メシ」のコーナーは、行ってみたいと思うお店が多々あった。若い放送局員が周囲から情報を聞いたのだらうと想像できるので、興味を惹く紹介だと感じた。

などの評価を頂きました。

一方、気になる点や望むこととして、

- 福島県の推しメシを紹介する場面がさらりとしていて、ゲストの不機嫌さがにじみ出ていたようにも感じた。全体的に話題を詰め込み過ぎていたので、福島県の場面はなくして、残りに時間を割いても良かった。
- 1日で何食も食べなければならないという事情は理解するが、出演者が料理を一口しか食べずに残している場面は残念に感じた。お店に失礼ではないかと思うし、フードロスへの関心が高まるなかで疑問に感じた。取り分けるなどの演出的な工夫はできなかったのか。
- 黒木瞳さんの手作りうどんの場面は「それ東京でも食べられますけど！」の番組趣旨とは違うのではないかと感じられた。

- エンディングで羽鳥さんが何を伝えようとしたのかよく理解できなかった。せつかくなら紹介したお店やエリアに視聴者が行きたくなるようなコメントで番組を終えて欲しかった。
などの批評や提言を頂きました。

これらに対して、担当者からは、

- 単なるグルメ番組に終わらないことと視聴者に旅をした気持ちになってもらえるように意識した。そのためにゲスト4名はエリアを散らばらせてキャスティングした。また、見たことも聞いたこともない料理を紹介できるようバランスを考えながらゲストを選んだ。
- 前作はコロナ禍で失われた絆を取り戻したいとの意図で制作した。取材交渉で久留米荘に話を伺うと「実はまだご挨拶できていない」という話だったので、ビデオレターの企画を盛り込んだ。番組が一番大切にしている部分とマッチしていると思った。
- スウェーデン出身の LiLiCo さんの話題では、LiLiCo さんのご友人が現地でコーディネーターをされていたので、ディレクターの代わりにカメラ撮影などをお願いした。一眼レフカメラでしっとりとした雰囲気のある映像を撮影することができたと思っている。
- 「地元局の放送局員が選んだご当地メシ」の在京4局は、ゲストがどの県を紹介するかによって決めた。また地域をばらして紹介するエリアを増やすようにも努めた。
- 福島県の場面でゲストが不機嫌そうにしていたのは演出。お笑い芸人さんのパートで笑いを演出したつもりだったが「不機嫌そう」と印象付けてしまったことは反省点だ。
- 食べ残しについて演出上の工夫や配慮不足が目立ってしまったのは否めない。
- 黒木さんの手作りうどんは黒木さんサイドからのアイデア。番組制作において出演者の希望をくみ取ることも欠かせないが、もう少し見せ方の工夫が必要だった。
- エンディングで羽鳥さんは内容が盛りだくさんだったことを伝えていたのだが、言葉足らずに見えてしまう演出になっていた。

などの説明をしました。